

令和2年度 市民満足度の評価について

(1)市民アンケート

18歳以上の市民2,500名を対象に、令和3年4月から5月にかけて市民アンケートを実施（回答率は34.4%）

市民満足度に係る15項目の設問に、「とても満足」、「やや満足」、「どちらともいえない」、「やや不満」、「不満」の5段階を選択。「とても満足」及び「やや満足」の回答数の合計が占める割合を、市民満足度の令和2年度実績値としている。

(2)市民アンケート結果に基づく評価指標(市民満足度)の令和2年度評価について

	令和2年度
目標値を達成した指標件数	10
目標値を達成した指標割合(%)	66.7

評価指標(市民満足度)(一覧)

達成状況：◎(目標達成)、△(目標未達成)

No.	長期的目標	市民満足度	基準値	目標値					実績値	⑦ R2 (2020) 達成状況
			① H28 (2016)	② R2 (2020) 3年後	③ R4 (2022) 中間年	④ R7 (2025) 8年後	⑤ R9 (2027) 最終年	⑥ R2 (2020)		
1	Ⅰ 低炭素社会の構築	省エネルギーの推進	26%	27%	28%	29%	30%	33.0%	◎	
2		地球環境にやさしい まちの形成	20%	23%	24%	26%	27%	24.7%	◎	
3	Ⅱ 循環型社会の形成	廃棄物対策とリサイ クルの推進	42%	44%	45%	46%	47%	34.8%	△	
4		水資源の有効活用	26%	28%	29%	30%	31%	31.6%	◎	
5		水質の保全	39%	41%	42%	43%	44%	42.0%	◎	
6	Ⅲ 自然環境の保全	自然環境の保全と活 用	36%	37%	38%	39%	40%	30.0%	△	
7		生き物の保護とふれ あいの確保	28%	29%	30%	31%	32%	38.2%	◎	
8		水辺環境の保全と活 用	41%	43%	44%	45%	46%	30.1%	△	
9	Ⅳ 生活環境の保全	緑の保全と緑化の推 進	48%	49%	50%	51%	52%	54.5%	◎	
10		快適な公共空間の確 保	40%	43%	44%	47%	48%	18.5%	△	
11		美しい街並みの創造	42%	44%	45%	47%	48%	54.2%	◎	
12		歴史・文化資源の保 全と活用	36%	37%	38%	38%	39%	38.0%	◎	
13	Ⅴ 環境教育の推進	環境教育の推進	26%	28%	29%	30%	31%	38.3%	◎	
14		市民参加の推進	23%	25%	26%	27%	28%	35.4%	◎	
15		環境に配慮した事業 活動の促進	22%	24%	25%	26%	27%	22.1%	△	

令和3年度市民アンケート調査
結果報告書

令和3年7月
環境部 環境政策課

= 目 次 =

＜市民アンケート調査＞	
第1章 調査の概要.....	6
第2章 調査結果.....	7
1 日常生活における環境配慮行動.....	7
2 身近な地域の環境をより良くするための取組.....	10
(1) 市民満足度.....	10
(2) 市民重要度.....	11
(3) 満足度と重要度の関係分析.....	12
(4) 今後宮崎市が重点的に進めていくべき施策(取組分野別).....	14
3 環境活動への参加.....	16
(1) 環境活動の実施状況と今後の意向.....	16
(2) 実施している環境活動の内容.....	17
(3) 今後参加してみたい環境活動の内容.....	18
(4) 市民の環境活動をより活発にするために必要な取組.....	19
第3章 評価指標の達成状況.....	20
1 第三次宮崎市環境基本計画の評価指標の達成状況.....	20

＜市民アンケート調査＞

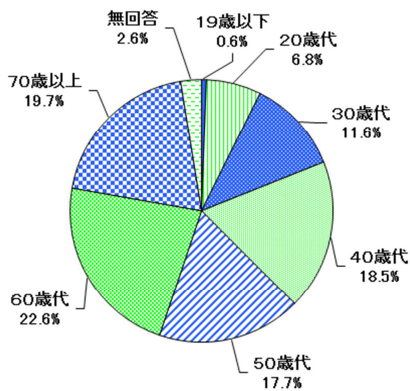
(注) 以下表・グラフ中において、四捨五入の関係から合計が 100%にならないことがある。

第1章 調査の概要

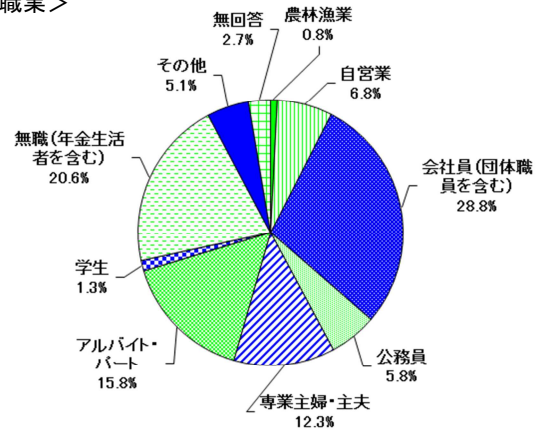
項目	内 容
調査方法	郵送による配布・郵送もしくはインターネット回答による回収
調査対象	宮崎市内に在住する18歳以上の市民2,500人
対象者の抽出方法	(1)年齢区分と住所区分から人口比率に応じて無作為抽出 (2)住所区分では等間隔に抽出し、同一世帯から複数の対象者を抽出しない ☆年齢区分：18～29歳、30～39歳、40～49歳、50～59歳、60～69歳、70～79歳 ☆住所区分： 中央地区（小戸、中央西、中央東）、中央北地区（大宮、東大宮）、中央東地区（檜）、中央南地区（大塚、大塚台・生目台、小松台、大淀）、赤江地区、木花地区、青島地区、住吉地区、生目地区、北地区、佐土原地区、田野地区、高岡地区、清武地区
調査実施期間	令和3年4月9日（金）～5月7日（金）
回答数(回答率)	回答数：859(回答率：34.4%)
調査内容	(1)回答者の属性について (2)日常生活における環境配慮行動 (3)身近な地域の環境をより良くするための取組（市民満足度、市民重要度、今後重点的に進めていくべき施策） (4)環境活動への参加について（環境活動の実施状況と今後の意向、実施している環境活動の内容、今後参加してみたい環境活動、進められることを望む取組など） (5)宮崎市のより良い環境づくりのためのアイデア（自由記述）

回答者の属性

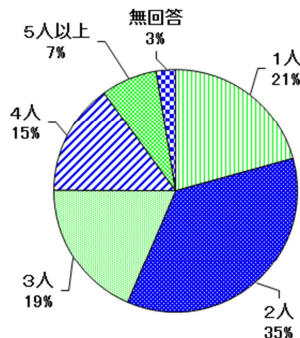
<年齢>



<職業>



<同居人数>



第2章 調査結果

1 日常生活における環境配慮行動

◆ ごみの減量・水資源の保全に配慮している市民が多い

日常生活のなかで、環境に対し気を付けていることとして、「ごみの減量・水資源の保全」に関する分野の取組等が最も高く、60.1%でした。





個別の取組をみると、取組率8割以上の項目は、「7 買い物の際にエコバッグを使用し、レジ袋をもらわないようにしている」(89.8%)、「8 ごみと資源物を適正に分別し、ごみ減量と再資源化に取り組んでいる」(85.8%)、「11 廃食用油や調理くずを直接排水口に流さないようにしている」(80.7%)でした。





問4 あなたやあなたのご家族は日常生活のなかで、環境に対しどんなことに取り組んでいますか。1から20の項目のうち、取り組んでいるものの番号すべてに○をつけてください。

項目	省エネルギー活動について	取組率
1	クールビズやウォームビズにより冷暖房の設定温度を控えめにしている	61.1%
2	太陽光パネルを設置するなど再生可能エネルギーを利用している	15.6%
3	ハイブリッド自動車や電気自動車を利用している	23.4%
4	移動には、バスや電車などの公共交通機関を積極的に利用している	13.5%
5	不要なアイドリングや急発進・急停車をしないなどエコドライブ運転をしている	58.2%
6	食品ロスをできるだけ出さない、地産地消など環境負荷の少ない賢い選択をしている	65.0%
	【上記取組の平均】	39.5%













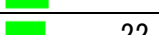
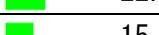
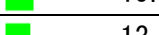
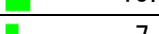
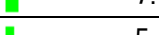
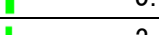
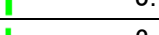
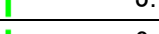
項目	ごみの減量・水資源の保全について	取組率
7	買い物の際にエコバッグを使用し、レジ袋をもらわないようにしている	89.8%
8	ごみと資源物を適正に分別し、ごみ減量と再資源化に取り組んでいる	85.8%
9	生ごみ処理機などを活用し、生ごみを堆肥化している	7.1%
10	節水に心がけ、お風呂の残り湯や雨水を活用している	37.1%
11	廃食用油や調理くずを直接排水口に流さないようにしている	80.7%
	【上記取組の平均】	60.1%

項目	自然環境の保全について	取組率
12	森林や緑地等の保全に関する活動に参加している	3.7%
13	身近な地域の自然や生き物を大切にしている	46.1%
14	ウォーキングやキャンプなど自然とのふれあいを大切にしている	34.8%
	【上記取組の平均】	28.2%

項目	生活環境の保全について	取組率
15	花壇作りや植樹などの緑化活動をおこなっている	 34.3%
16	文化財や歴史に関する施設等を大切にし、継承活動をおこなっている	 3.3%
17	自然災害に対する備えとして、防災訓練に参加している	 22.1%
	【上記取組の平均】	 19.9%

項目	環境教育について	取組率
18	環境に関するイベントや学習会などに参加している	 3.1%
19	地域や自宅周辺の清掃活動をおこなっている	 42.1%
20	環境家計簿を活用し省エネルギー・省資源行動に取り組んでいる	 5.0%
	【上記取組の平均】	 16.7%

まとめ（全体）

項目	日常生活における環境配慮行動の順位（回答数順）	取組率
7	買い物の際にエコバッグを使用し、レジ袋をもらわないようにしている	 89.8%
8	ごみと資源物を適正に分別し、ごみ減量と再資源化に取り組んでいる	 85.8%
11	廃食用油や調理くずを直接排水口に流さないようにしている	 80.7%
6	食品ロスをできるだけ出さない、地産地消など環境負荷の少ない賢い選択をしている	 65.0%
1	クールビズやウォームビズにより冷暖房の設定温度を控えめにしている	 61.1%
5	不要なアイドリングや急発進・急停車をしないなどエコドライブ運転をしている	 58.2%
13	身近な地域の自然や生き物を大切にしている	 46.1%
19	地域や自宅周辺の清掃活動をおこなっている	 42.1%
10	節水に心がけ、お風呂の残り湯や雨水を活用している	 37.1%
14	ウォーキングやキャンプなど自然とのふれあいを大切にしている	 34.8%
15	花壇作りや植樹などの緑化活動をおこなっている	 34.3%
3	ハイブリッド自動車や電気自動車を利用している	 23.4%
17	自然災害に対する備えとして、防災訓練に参加している	 22.1%
2	太陽光パネルを設置するなど再生可能エネルギーを利用している	 15.6%
4	移動には、バスや電車などの公共交通機関を積極的に利用している	 13.5%
9	生ごみ処理機などを活用し、生ごみを堆肥化している	 7.1%
20	環境家計簿を活用し省エネルギー・省資源行動に取り組んでいる	 5.0%
12	森林や緑地等の保全に関する活動に参加している	 3.7%
16	文化財や歴史に関する施設等を大切にし、継承活動をおこなっている	 3.3%
18	環境に関するイベントや学習会などに参加している	 3.1%

2 身近な地域の環境をより良くするための取組

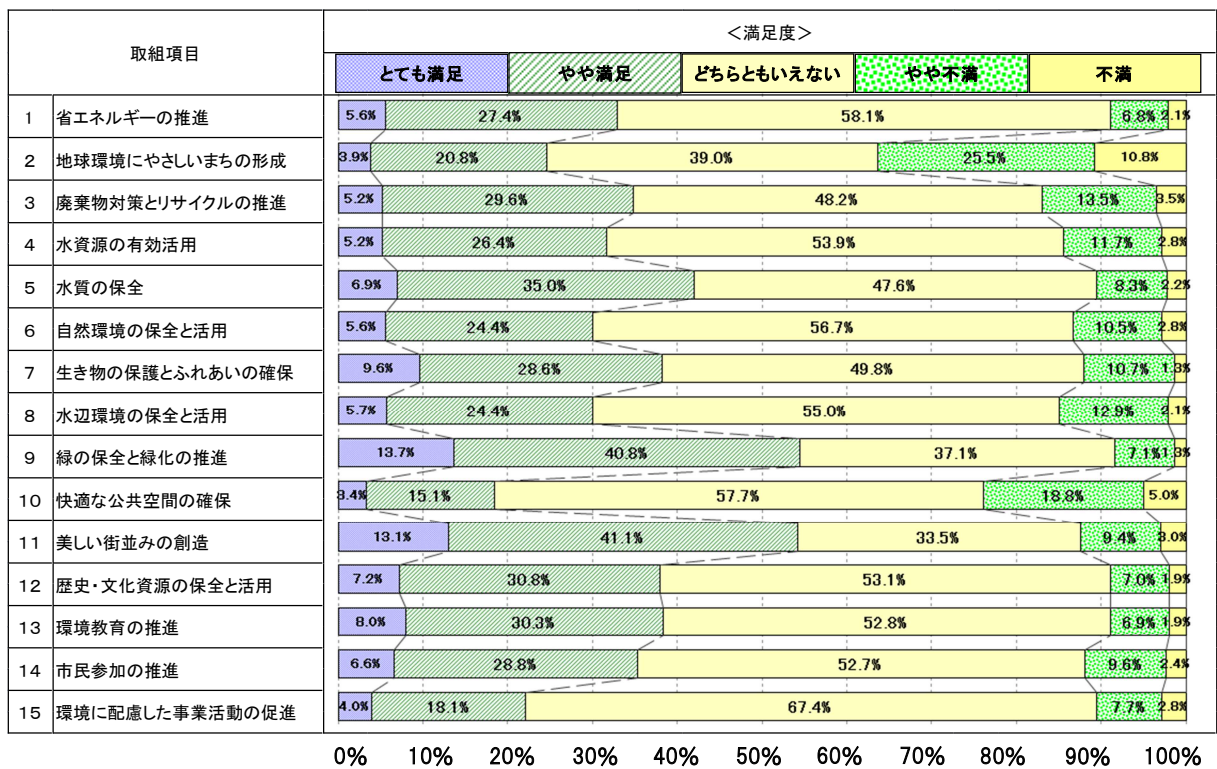
(1) 市民満足度

- ◆ 「9 緑の保全と緑化の推進」に関する満足度が高い
- ◆ 「2 地球環境にやさしいまちの形成」に関する満足度が低い

宮崎市の環境をより良くするための取組の満足度について、「とても満足」または「やや満足」とした人の割合が最も高い項目は「9 緑の保全と緑化の推進」(54.5%)でした。反対に、最も低い項目は「10 快適な公共空間の確保」(18.5%)でした。

また、「不満」または「やや不満」とした人の割合が最も高い項目は「2 地球環境にやさしいまちの形成」(36.3%)、次いで「10 快適な公共空間の確保」(23.9%)でした。

問5 宮崎市が進めている身近な地域の環境をより良くするための取組について、あなたはどのくらい満足していますか。また、それらはどのくらい重要とお考えですか。1から15までのそれぞれの項目について、「満足度」と「重要度」のそれぞれの欄のあてはまる番号に、1つずつ〇をつけてください。



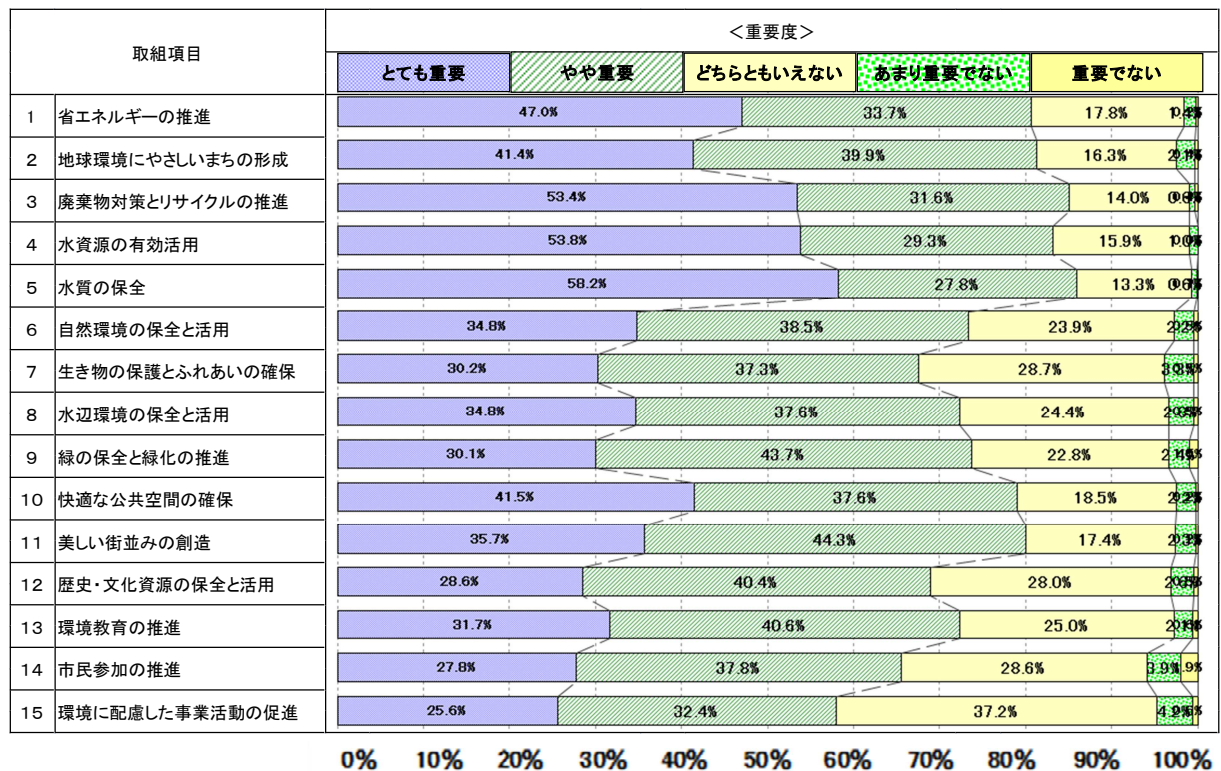
「とても満足」+「やや満足」の上位5位まで	「不満」+「やや不満」の上位5位まで
9 緑の保全と緑化の推進 (54.5%)	2 地球環境にやさしいまちの形成 (36.3%)
11 美しい街並みの創造 (54.2%)	10 快適な公共空間の確保 (23.9%)
5 水質の保全 (42.0%)	3 廃棄物対策とリサイクルの推進 (17.0%)
13 環境教育の推進 (38.3%)	8 水辺環境の保全と活用 (14.9%)
7 生き物の保護とふれあいの確保 (38.2%)	4 水資源の有効活用 (14.5%)

(2) 市民重要度

◆ 各取組に対する重要度は全体的に高いが、特に「5 水質の保全」、「3 廃棄物対策とリサイクルの推進」、「4 水資源の有効活用」の重要度が高い

宮崎市の環境をより良くするための取組の重要度について、ほぼ全ての取組項目について、6割以上の人が、「とても重要」または「やや重要」としています。特に、「とても重要」または「やや重要」とした人が最も多い項目は5 水質の保全(86.0%)、次いで「3 廃棄物対策とリサイクルの推進」(85.0%)、「4 水資源の有効活用」(83.2%)でした。

反対に、「重要でない」または「あまり重要でない」とした人の割合が最も多いのは、「14 市民参加の推進」(5.8%)でした。



「とても重要」＋「やや重要」の上位5位まで	「重要でない」＋「あまり重要でない」の上位5位まで
5 水質の保全 (86.0%)	14 市民参加の推進 (5.8%)
3 廃棄物対策とリサイクルの推進 (85.0%)	15 環境に配慮した事業活動の促進 (4.8%)
4 水資源の有効活用 (83.2%)	7 生き物の保護とふれあいの確保 (3.8%)
2 地球環境にやさしいまちの形成 (81.3%)	9 緑の保全と緑化の推進 (3.4%)
1 省エネルギーの推進 (80.6%)	8 水辺環境の保全と活用 (3.3%)

(3) 満足度と重要度の関係分析

- ◆ 今後重点的に進めていくべき重点エリア(A領域)の取組項目は、「2 地球環境にやさしいまちの形成」、「3 廃棄物対策とリサイクルの推進」、「4 水資源の有効活用」、「10 快適な公共空間の確保」

身近な地域の環境をより良くするための取組に関する満足度指数^{※1}と重要度指数^{※2}を用いて、満足度と重要度の関係を示す散布図を作成し、重点的に進めて行くべき取組項目の抽出を行いました(13ページ参照)。

ここで、満足度が平均値より低く、重要度が平均値より高い項目(図中、A領域の項目)は、今後重点的に進めていくべきと捉えられます。重点エリアの項目は、「2 地球環境にやさしいまちの形成」「3 廃棄物対策とリサイクルの推進」「4 水資源の有効活用」「10 快適な公共空間の確保」の4つでした。

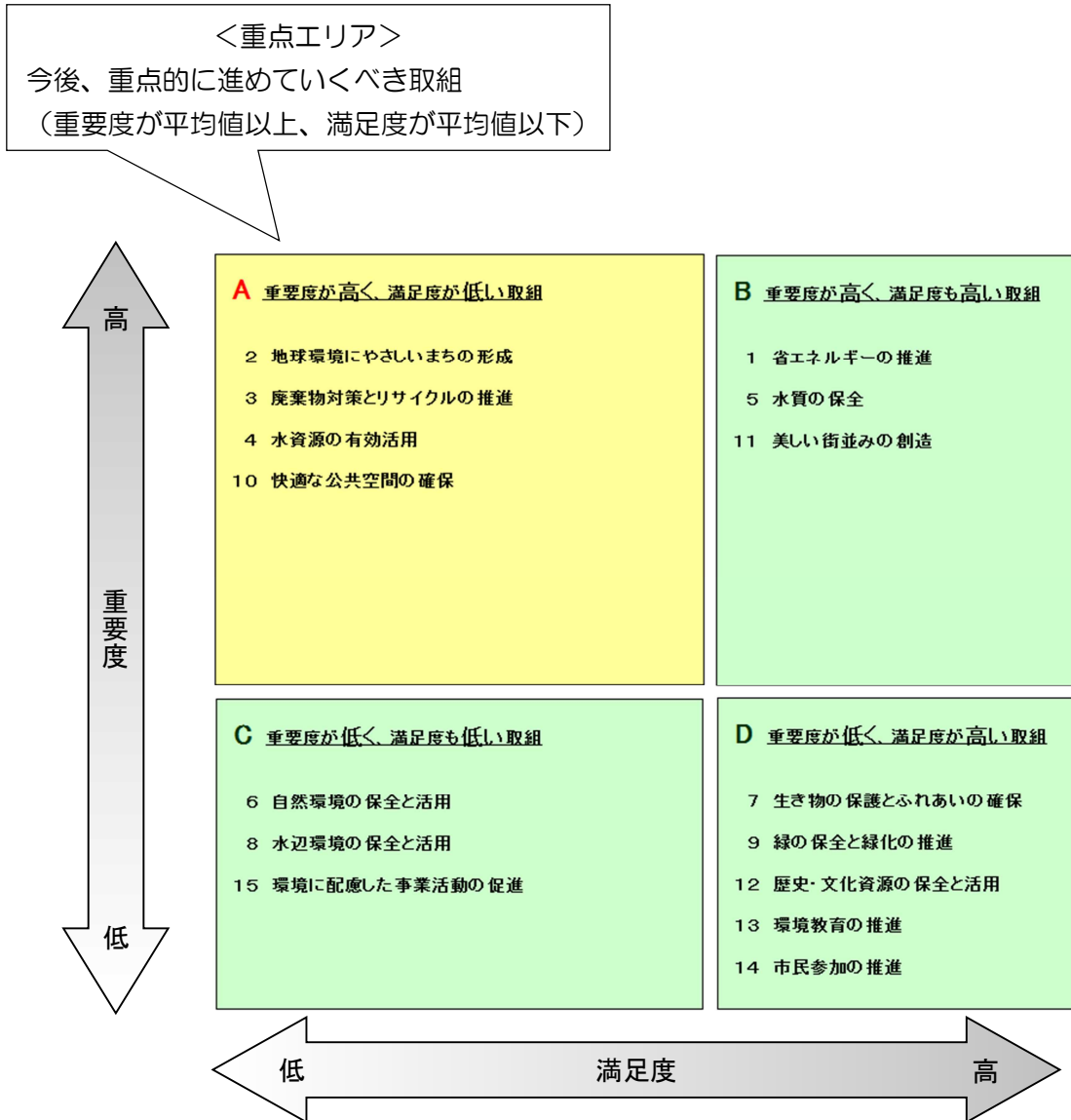
また、満足度が平均値より高く、重要度も平均値より高い項目(図中、B領域の項目)は、「1 省エネルギーの推進」「5 水質の保全」「11 美しい街並みの創造」の3つでした。

- ※1 満足度指数：アンケート回答者の評価を得点化(「とても満足」=5点 「やや満足」=4点 「どちらともいえない」=3点 「やや不満」=2点 「不満」=1点)し、加重平均して算出した値。
- ※2 重要度指数：アンケート回答者の評価を得点化(「とても重要」=5点 「やや重要」=4点 「どちらともいえない」=3点 「あまり重要でない」=2点 「重要でない」=1点)し、加重平均して算出した値。

参考 市民アンケートにおける取組項目(1~15)ごとの具体的内容

- | | |
|----|---|
| 1 | 再生可能エネルギーの利用促進、学校給食の地場産物の使用(地産地消) など |
| 2 | <u>公共交通機関の利用促進、自転車レーン設置、電線地中化の推進</u> など |
| 3 | <u>5Rの推進、廃棄物の適正な処理の推進、不法投棄防止対策の推進</u> など |
| 4 | <u>河川や地下水などの水質測定、水道管の耐震化、植林や間伐など適切な森林施業の推進</u> など |
| 5 | 河川浄化対策として浄化槽法定検査推進、生活排水処理の向上 など |
| 6 | 海岸松林の保全活動、市民農園の運用、遊休農地の解消、緑地の保全や郷土の名木指定 など |
| 7 | 野生動植物の重要生息地保護、宮崎市フェニックス自然動物園の活用 など |
| 8 | 多自然川づくりの推進、ホタルが生息する地区の支援 など |
| 9 | フラワーポット作りなど花と緑のまちづくり、公園・緑地の確保 など |
| 10 | <u>大気汚染物質等の測定、ヒートアイランド対策、熱中症予防対策休息所設置</u> など |
| 11 | 美しい農村景観の保全、日南海岸沿道の除草や花木の植栽 など |
| 12 | 史跡公園の活用、天然記念物や史跡などの文化財の保護管理 など |
| 13 | 大淀川学習館の活用、環境学習パートナー派遣、小中学校における環境教育の推進 など |
| 14 | 市民一斉清掃など市民参加による環境保全活動の推進、環境に関する市民活動の推進 など |
| 15 | 環境保全型農業の支援、みやざきエコアクション認証制度 など |

※下線は、今後、重点的に進めていくべき取組



項目	満足度指数		重要度指数	
	H30	R2	H30	R2
1 省エネルギーの推進	3.17	3.28	4.27	4.26
2 地球環境にやさしいまちの形成	3.08	2.81	4.38	4.20
3 廃棄物対策とリサイクルの推進	② 3.43	3.20	② 4.47	② 4.37
4 水資源の有効活用	3.22	3.20	4.32	③ 4.36
5 水質の保全	3.32	3.36	① 4.58	① 4.43
6 自然環境の保全と活用	3.21	3.20	③ 4.41	4.05
7 生き物の保護とふれあいの確保	3.19	3.34	4.14	3.94
8 水辺環境の保全と活用	③ 3.32	3.19	4.34	4.03
9 緑の保全と緑化の推進	① 3.43	① 3.58	4.36	4.00
10 快適な公共空間の確保	3.27	2.93	4.39	4.18
11 美しい街並みの創造	3.27	② 3.52	4.17	4.13
12 歴史・文化資源の保全と活用	3.32	3.34	3.93	3.94
13 環境教育の推進	3.20	③ 3.36	4.21	4.01
14 市民参加の推進	3.14	3.28	3.89	3.86
15 環境に配慮した事業活動の促進	3.13	3.13	4.21	3.78
平均	3.25	3.25	4.27	4.10

塗つぶし：平均値以上の項目、太字：上位3項目
○内は順位

(4) 今後宮崎市が重点的に進めていくべき施策（取組分野別）

問6 環境をより良くしていくために、今後、宮崎市はどのような施策を重点的に進めていくべきだとお考えですか。次の分野ごとに3つ以内で、あてはまる番号に○をつけてください。

①低炭素社会の構築

- ◆ 「1 太陽光などの再生可能エネルギー導入の促進」が最も重視されている

今後、宮崎市が重点的に進めていくべき施策として、「1 太陽光などの再生可能エネルギー導入の促進」(52.3%) が最も重視されています。

【低炭素社会の構築】		回答割合
1	太陽光などの再生可能エネルギー導入の促進	52.3%
4	環境に配慮したライフスタイル・ビジネススタイルの推進	41.0%
5	自転車利用環境の向上	39.9%
3	通勤・通学等での公共交通機関の利用促進	39.6%
6	環境にやさしいコンパクトシティの推進	32.9%
2	電気自動車等のエコカーの推進	31.7%
7	庁舎等公共施設のZEB(ネットゼロエネルギービル)	18.4%
8	その他	2.2%

②循環型社会の形成

- ◆ 「2 適正なりサイクルの推進」や「1 廃棄物(ごみ)の発生抑制」が重視されている

今後、宮崎市が重点的に進めていくべき施策として、「2 適正なりサイクルの推進」(61.4%)や「1 廃棄物(ごみ)の発生抑制」(50.1%)が重視されています。

【循環型社会の形成】		回答割合
2	適正なりサイクルの推進	61.4%
1	廃棄物(ごみ)の発生抑制	50.1%
4	水資源の保全(節水、地下水の水質保全など)	41.9%
3	事業活動にともなう廃棄物の適正な処理の推進	31.1%
6	河川浄化対策の推進	29.1%
7	水質悪化を防止するための啓発	28.1%
5	水源涵養(すいげんかんよう)機能など多面的機能を有する森林の保全	28.1%
8	その他	0.6%

③自然環境の保全

- ◆ 「5 防災・減災に活用できる自然生態系の保全」や「3 公園・緑地等の整備」が重視されている

今後、宮崎市が重点的に進めていくべき施策として、「5 防災・減災に活用できる自然生態系の保全」(65.1%) や「3 公園・緑地等の整備」(57.5%) が重視されています。

【自然環境の保全】		回答割合
5	防災・減災に活用できる自然生態系の保全	65.1%
3	公園・緑地等の整備	57.5%
4	多自然川づくり工法による護岸整備など	42.5%
1	多様な動植物の保全	41.3%
2	森林や公園等の維持管理活動をおこなうボランティアへの支援	33.9%
6	自然とふれあう活動の促進	26.1%
7	その他	0.9%

④生活環境の保全

- ◆ 「5 気候変動(気温の上昇、大雨の頻度増加など)による影響等への適応」や「6 自然災害から命を守るための取組(防災訓練や自主防災組織の支援など)」が重視されている

今後、宮崎市が重点的に進めていくべき施策として、「5 気候変動(気温の上昇、大雨の頻度増加など)による影響等への適応」(60.2%)や「6 自然災害から命を守るための取組(防災訓練や自主防災組織の支援など)」(59.0%)が重視されています。

【生活環境の保全】		回答割合
5	気候変動(気温の上昇、大雨の頻度増加など)による影響等への適応	60.2%
6	自然災害から命を守るための取組(防災訓練や自主防災組織の支援など)	59.0%
1	緑化の推進	42.0%
2	建物や緑、道路等の調和のとれた街並みの形成	40.6%
4	公害防止対策の推進	37.6%
3	歴史や文化資源の保存と継承の推進	21.9%
7	公用車EV(電気自動車)の導入及び非常時等の活用	10.1%
8	その他	0.6%

⑤環境教育の推進

◆「2 小中学校における環境学習の推進」や「4 環境に関する情報の提供」が重視されている

今後、宮崎市が重点的に進めていくべき施策として、「2 小中学校における環境学習の推進」（61.8%）や「4 環境に関する情報の提供」（47.6%）が重視されています。

【環境教育の推進】		回答割合
2	小中学校における環境学習の推進	61.8%
4	環境に関する情報の提供	47.6%
7	環境に配慮した事業活動への支援	36.6%
3	環境教育を推進する人材の育成	36.3%
5	市民協働で環境活動を推進するためのしくみづくり	25.5%
6	環境問題に取り組む市民活動団体への支援	24.3%
1	環境学習機会と場の創出	23.7%
8	その他	0.5%

3 環境活動への参加

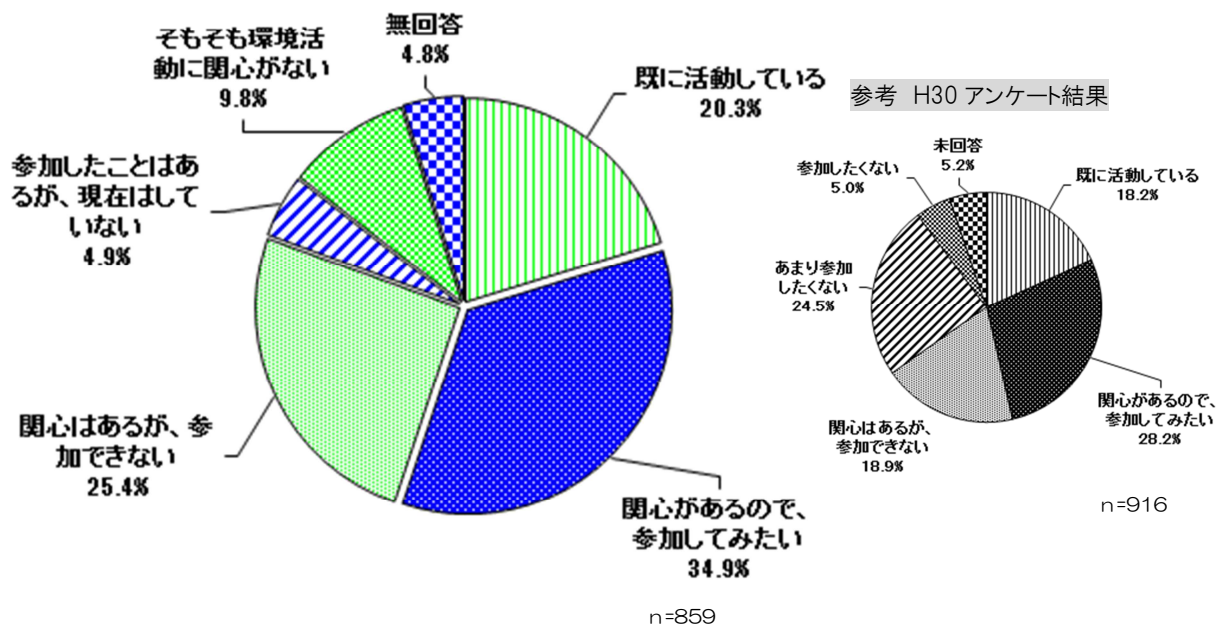
(1) 環境活動の実施状況と今後の意向

◆ 環境活動に参加意欲や関心がある人は約 8 割で、2 年前と比べるとその割合は増加

環境活動への参加意欲に関して、「関心があるので、参加してみたい」と答えた人が最も多く、34.9% でした。

「既に活動している」「関心があるので、参加してみたい」「関心はあるが、参加できない」と答えた環境活動に参加意欲や関心がある人は、合計で 80.6% でした。平成 30 年の結果と比較すると、この割合は 15.3 ポイント増加しています。

問 7 (1) あなたは環境活動に参加したいと思いますか。あてはまる番号に 1 つだけ○をつけてください。



市民の活動意欲(関心)
 H30 ⇒ R2
 65.3% ⇒ 80.6%
 (+15.3 ポイント)

(2) 実施している環境活動の内容

◆ 実施している環境活動は、「15 買い物時のエコバッグ利用」が最も多い

◆ 次いで「5 地域の清掃活動」が多い

既に活動している環境活動で最も多かった内容は「15 買い物時のエコバッグ利用」で91.4%で、平成30年の結果と比較すると、この割合は27.3ポイント増加しています。

また、「5 地域の清掃活動」も60.3%で上位に入ります。

問7(2) 問7(1)で『1 既に活動している』とお答えの方にお聞きします。
あなたは、現在どのような環境活動を行っていますか。1から17のあてはまる番号にすべて○をつけてください。

項目	環境活動の内容	割合
15	買い物時のエコバッグ利用	91.4%
5	地域の清掃活動	60.3%
14	フリマアプリやリサイクルショップなどの活用	39.7%
4	花壇作りや植樹などの緑化運動	31.0%
16	太陽光パネルの設置など再生可能エネルギーの利用	21.3%
9	緑の募金など環境保全のための寄付	20.7%
12	生ごみの堆肥化（コンポスト、電動生ゴミ処理機の利用）	10.3%
7	海岸清掃や海岸保全活動	9.2%
1	環境に関する講演会・講習会の受講	6.9%
11	地域まちづくり団体の環境活動	4.6%
3	自然林や野生生物等の自然保護活動	3.4%
13	EV（電気自動車）の導入	2.9%
10	台風後などの海岸漂着物の緊急撤去活動	2.9%
8	河川環境保全活動	2.9%
2	自然観察会への参加	2.9%
6	森林保全に関する活動	2.3%
17	その他	3.4%

(3) 今後参加してみたい環境活動の内容

◆ 今後参加してみたい環境活動は、「15 買い物時のエコバッグ利用」が最も多い

今後、参加してみたい環境活動として最も多かった内容は、「15 買い物時のエコバッグ利用」で49.3%でした。

また、既に実施している環境活動として上位に入っているものは、今後参加してみたい環境活動でも上位になる傾向がみられます。

問7 (3) 問7 (1) で『1 既に活動している』、『2 関心があるので、参加してみたい』、『3 関心はあるが、参加できない』、『4 参加したことはあるが、現在はしていない』とお答えの方にお聞きします。
今後、参加してみたい環境活動はどれですか。1から17のあてはまる番号にすべて○をつけてください。

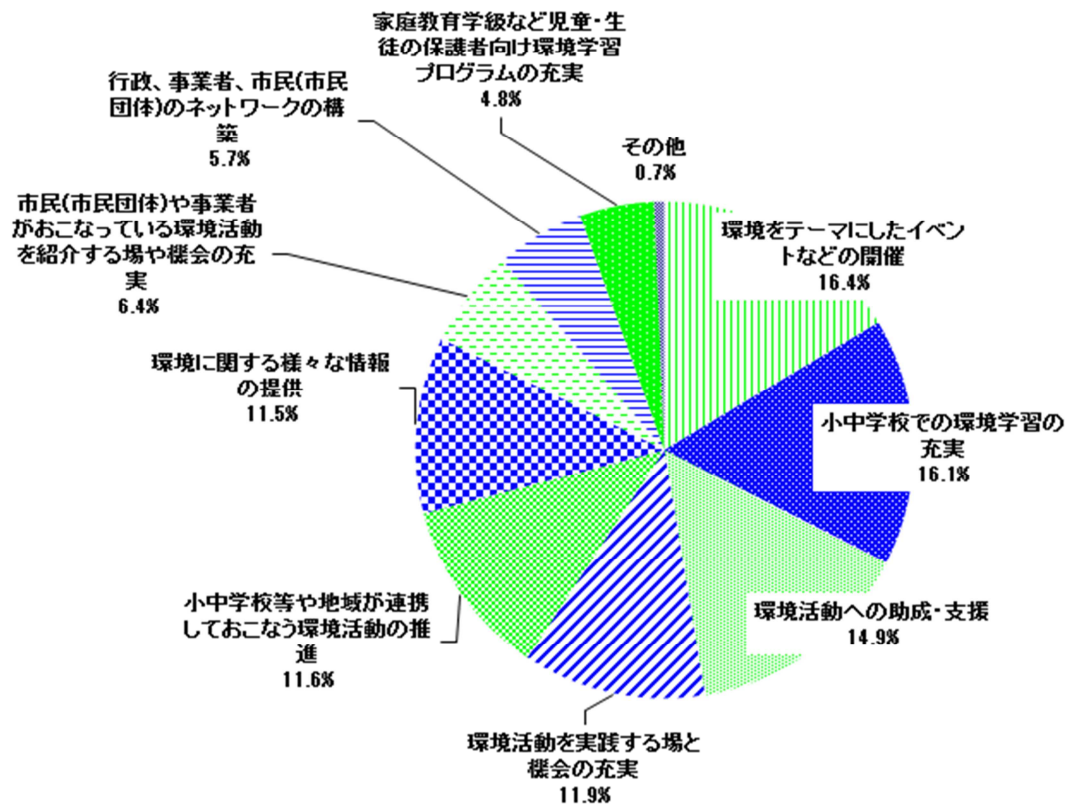
項目	環境活動の内容	割合
15	買い物時のエコバッグ利用	 49.3%
4	花壇作りや植樹などの緑化運動	 35.6%
5	地域の清掃活動	 32.4%
14	フリマアプリやリサイクルショップなどの活用	 26.6%
12	生ごみの堆肥化（コンポスト、電動生ゴミ処理機の利用）	 22.3%
7	海岸清掃や海岸保全活動	 20.7%
2	自然観察会への参加	 19.1%
3	自然林や野生生物等の自然保護活動	 18.9%
1	環境に関する講演会・講習会の受講	 15.4%
16	太陽光パネルの設置など再生可能エネルギーの利用	 15.3%
13	EV（電気自動車）の導入	 14.3%
9	緑の募金など環境保全のための寄付	 14.2%
10	台風後などの海岸漂着物の緊急撤去活動	 11.3%
6	森林保全に関する活動	 10.6%
8	河川環境保全活動	 9.5%
11	地域まちづくり団体の環境活動	 7.9%
17	その他	 1.0%

(4) 市民の環境活動をより活発にするために必要な取組

◆ 環境をテーマにしたイベントなどの開催や、小中学校での環境学習の充実が求められている

市民の環境活動をより活発にするための取組として、「環境をテーマにしたイベントなどの開催」が最も多く、16.4%でした。次いで「小中学校での環境学習の充実」が多く、16.1%でした。

問8 市民の環境活動をより活発にするために、特にどのような取組が進められることを望みますか。特に望むことの番号に1つだけ○をつけてください。



第3章 評価指標の達成状況

1 第三次宮崎市環境基本計画の評価指標の達成状況

◆ 15項目中10項目で、市民満足度の目標値を達成

◆ 一方で、「廃棄物対策とリサイクルの推進」、「自然環境の保全と活用」、「水辺環境の保全と活用」、「快適な公共空間の確保」、「環境に配慮した事業活動の促進」は未達成

市民アンケート調査の「問5 宮崎市が進めている身近な地域の環境をより良くするための取組の満足度」は、計画の評価指標として、それぞれ目標値が設定されています。

目標値の達成状況を見ると、15項目中10の指標で目標値を達成しています。一方で、「廃棄物対策とリサイクルの推進」、「自然環境の保全と活用」、「水辺環境の保全と活用」、「快適な公共空間の確保」、「環境に配慮した事業活動の促進」は目標値を達成しませんでした。

達成状況：◎(目標達成)、△(目標未達成)

長期的目標Ⅰ 低炭素社会の構築							
市民満足度	基準値	目標値				実績値	R2 (2020) 達成状況
	H28 (2016)	R2 (2020) 3年後	R4 (2022) 中間年度	R7 (2025) 8年後	R9 (2027) 最終年度	R2 (2020)	
省エネルギーの推進	26%	27%	28%	29%	30%	33.0%	◎
地球環境にやさしい まちの形成	20%	23%	24%	26%	27%	24.7%	◎
長期的目標Ⅱ 循環型社会の形成							
市民満足度	基準値	目標値				実績値	R2 (2020) 達成状況
	H28 (2016)	R2 (2020) 3年後	R4 (2022) 中間年度	R7 (2025) 8年後	R9 (2027) 最終年度	R2 (2020)	
廃棄物対策とリサイ クルの推進	42%	44%	45%	46%	47%	34.8%	△
水資源の有効活用	26%	28%	29%	30%	31%	31.6%	◎
水質の保全	39%	41%	42%	43%	44%	42.0%	◎

長期的目標Ⅲ 自然環境の保全							
市民満足度	基準値	目標値				実績値	R2 (2020) 達成状況
	H28 (2016)	R2 (2020) 3年後	R4 (2022) 中間年度	R7 (2025) 8年後	R9 (2027) 最終年度	R2 (2020)	
自然環境の保全と活用	36%	37%	38%	39%	40%	30.0%	△
生き物の保護とふれあいの確保	28%	29%	30%	31%	32%	38.2%	◎
水辺環境の保全と活用	41%	43%	44%	45%	46%	30.1%	△
長期的目標Ⅳ 生活環境の保全							
市民満足度	基準値	目標値				実績値	R2 (2020) 達成状況
	H28 (2016)	R2 (2020) 3年後	R4 (2022) 中間年度	R7 (2025) 8年後	R9 (2027) 最終年度	R2 (2020)	
緑の保全と緑化の推進	48%	49%	50%	51%	52%	54.5%	◎
快適な公共空間の確保	40%	43%	44%	47%	48%	18.5%	△
美しい街並みの創造	42%	44%	45%	47%	48%	54.2%	◎
歴史・文化資源の保全と活用	36%	37%	38%	38%	39%	38.0%	◎
長期的目標Ⅴ 環境教育の推進							
市民満足度	基準値	目標値				実績値	R2 (2020) 達成状況
	H28 (2016)	R2 (2020) 3年後	R4 (2022) 中間年度	R7 (2025) 8年後	R9 (2027) 最終年度	R2 (2020)	
環境教育の推進	26%	28%	29%	30%	31%	38.3%	◎
市民参加の推進	23%	25%	26%	27%	28%	35.4%	◎
環境に配慮した事業活動の促進	22%	24%	25%	26%	27%	22.1%	△